

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	茶屋道 拓哉
連絡先メールアドレス	taku_cha@kyushu.ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	看護福祉学部社会福祉学科 ，大学院看護福祉学研究科精神保健学専攻
略歴	<p>【学歴】</p> <p>鹿児島国際大学社会学部社会福祉学科 卒業</p> <p>鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科社会福祉学専攻修士課程 修了</p> <p>鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程 修了</p> <p>【職歴】</p> <p>医療法人全隆会 指宿竹元病院 精神保健福祉士</p> <p>鹿児島国際大学実習センター 実習助手</p> <p>九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 助手，専任講師 を経て</p> <p>九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 准教授</p> <p>九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科精神保健学専攻 准教授（兼任）</p>
取得学位	博士（社会福祉学）鹿児島国際大学 2014年
担当科目	<p>【学部】精神保健，精神保健福祉論，精神保健福祉援助技術各論，精神保健福祉援助演習，精神保健福祉援助実習指導，社会福祉特別演習，卒論．</p> <p>【大学院】精神保健ソーシャルワーク論，精神保健臨床論，社会精神保健学特論，社会精神保健学演習，社会精神保健学研究</p>
専門分野	社会福祉学（ソーシャルワーク・精神保健福祉）
所属学会	日本社会福祉学会，日本精神保健福祉学会，日本ソーシャルワーク学会，日本社会福祉教育学会，日本看護福祉学会 など．
現在の研究テーマ	<p>1) 精神保健福祉士が抱えるディレンマの構造分析</p> <p>2) 精神保健福祉士の社会的責務と地域移行 / 定着支援の関係性の分析</p> <p>3) 精神保健福祉士の成長とキャリア，スーパービジョン</p> <p>4) 熊本地震発生後の保健医療福祉専門職の課題</p>
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>【著書】</p> <p>(共著)『精神保健福祉士の養成教育論』中央法規，2016年．</p> <p>(共著)『精神保健福祉援助演習（専門）【第2版】』弘文堂，2016年．</p> <p>(共著)『現代社会福祉用語辞典』学文社，2013年．</p> <p>(共著)『精神保健福祉士のためのスクールソーシャルワーク入門』へるす出版，2012年．</p> <p>(共著)『精神保健福祉援助演習（専門）』弘文堂，2012年．</p> <p>(共著)『障害者福祉論』法律文化社，2010年．</p> <p>(共編著)『障害者福祉の研究課題と方法』学文社，2007年．</p> <p>【論文・報告書など】(2010年度以降のみ掲載)</p> <p><報告書> (共著)「ひきこもり当事者と支援者の語りから考える支援連続性の課題」平成24～26年度文部科学省科学研究費助成（基盤研究C）研究</p>

	<p>報告書，総頁数 A4 判 119 頁，2015 年 .</p> <p>< 報告書 > (共著) 「ソーシャルワーカーとしてのキャリア形成」『社会福祉教育年報 第 34 集(2013 年度版)』日本社会福祉教育学校連盟，2014 年 .</p> <p>< 博士論文 > 「精神保健福祉士の抱えるディレンマと社会的責務に関する研究 精神障害者の地域移行・地域定着を視座にして 」鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科 博士論文 2014 年.</p> <p>< 研究報告 > (共著) 「定時制高校生の社会的自立を支援する高校・大学・地域の連携 出前講座の取り組みを通して見えた生徒の実態と講座の意義」『九州看護福祉大学紀要』Vol.14.No.1，51-59，2014 年 .</p> <p>< 報告 > (単著) 「アディクション家族へのソーシャルワーク - スクールソーシャルワーカーのディレンマからの接近 - 」『日本アルコール関連問題学会雑誌』第 14 巻 2 号，67-71，2012 年 .</p> <p>< 原著 > (共著) 「精神科治療領域におけるインフォームド・コンセントに関わる臨床看護師の看護実践 質的研究から量的研究の検証 」『九州看護福祉大学紀要』Vol.11.No.1，39-57，2012 年 .</p> <p>< 特集・その他 > (共著) 「東日本大震災における学生ボランティア活動の教育的意義」『九州看護福祉大学紀要』Vol.11.No.1，25-36，2012 年 .</p> <p>< 原著 > (共著) 「スクールソーシャルワーカーの視座とかわりに関する実践分析 (1) 学校現場への視座とかわり 」『応用障害心理学研究』第 10 号，105-114，2011 年 .</p> <p>< 原著 > (共著) 「スクールソーシャルワーカーの視座とかわりに関する実践分析 (2) 子どもや家庭への視座とかわり，価値観 」『応用障害心理学研究』第 10 号，115-126，2011 年 .</p> <p>< 研究ノート > (単著) 「精神障害者の地域移行支援に関する現状と課題 精神保健福祉士の社会的責務との関係性から 」『九州社会福祉学』第 7 号，89-104，2011 年 .</p> <p>< 原著 > (共著) 「精神科治療領域におけるインフォームド・コンセントに関わる熟練看護師の実践的知識」『日本保健福祉学会誌』Vol.6 No.2，1-11，2011 年 .</p> <p>< 研究ノート > (単著) 「精神保健福祉士の抱えるディレンマ構造に関する研究課題と方法 先行研究にみる対人援助職のディレンマ構造からの接近 」『九州社会福祉学』第 6 号，49-63，2010 年 .</p>
社会活動・社会貢献	<p>厚生労働省 精神保健福祉士国家試験 試験委員</p> <p>(公社) 日本精神保健福祉士協会 代議員</p> <p>認定社会福祉士認証・認定機構 上級スーパーバイザー</p> <p>熊本県精神保健福祉士協会 副会長</p> <p>熊本県福祉サービス運営適正化委員会 副委員長</p> <p>荒尾市いじめ防止対策審議会 委員</p> <p>玉名市いじめ調査委員会 委員 など .</p>